

収 穫 調 査 委 託 契 約 書

1. 調査名、委託予定数量、委託予定金額及び調査場所

調 査 名 (森林管理署等)	委 託 予定数量 (ha)	委 託 予 定 金 額	調査場所
収穫調査委託 (岩泉地区) (三陸北部森林管理署)	282.79	※ 委託金額 円也 (うち取引に係る消費税及び 地方消費税額 円也)	別紙 1 調査 内訳書の とおり

(注) () の部分は、受託者が課税対象業者である場合に使用する。

2. 契約期間

自 令和 8 年 月 日 (契約締結の翌日)
至 令和 8 年 11 月 30 日

3. 契約保証金 免 除

4. 特約事項 別紙 2 のとおり

上記委託事業につき、委託者 分任支出負担行為担当官 三陸北部森林管理署長 葛西 貴仁
(以下「甲」という。)と受託者 (以下「乙」という。)とは、本契約書及び令和 年 月 日付けで交付した収穫調査委託契約約款によって委託契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書 2 通を作成し、双方記名押印の上、各自 1 通を保有する。

令和 年 月 日

委託者 (甲) (住所) 岩手県宮古市磯鶏石崎 4 番 6 号
(氏名) 分任支出負担行為担当官
三陸北部森林管理署長 葛西 貴仁

受託者 (乙) (住所)
(氏名)

調 査 内 訳 書

森林管理 署等	調査場所		予定面積 (ha)	予定材積 (m ³)	伐採種	伐採率 (%)	調査方法	備考
	林名区分	林小班						
釜津田	国有林	526い1	16.97	1,300	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	526い2	5.39	396	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
釜津田	国有林	526い3	12.61	921	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	526ろ1	19.77	1,476	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
釜津田	国有林	526ろ2	4.49	326	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	526は1	5.49	301	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
釜津田	国有林	526は2	20.12	1,195	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526は1襲用
釜津田	国有林	529ろ1	10.53	792	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	529ろ2	11.05	834	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	529ろ3	8.40	634	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	529ろ4	7.33	568	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	526い2襲用
釜津田	国有林	533い1	5.41	404	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	533い3襲用
釜津田	国有林	533い2	1.16	118	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	533い3襲用
釜津田	国有林	533い3	4.53	354	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
釜津田	国有林	533い4	6.15	474	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	533い3襲用
釜津田	国有林	533い5	6.49	476	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	533い3襲用
釜津田	国有林	533い6	6.06	450	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	533い3襲用
釜津田	国有林	533い7	8.63	644	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	533い3襲用
釜津田	国有林	540ろ2	3.81	249	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	540ろ4襲用
釜津田	国有林	540ろ3	15.00	1,122	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	540ろ4襲用
釜津田	国有林	540ろ4	8.64	618	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
釜津田	国有林	540ろ5	1.03	88	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
釜津田	国有林	540ろ6	3.30	215	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	540ろ4襲用
岩泉	国有林	558い4	2.09	127	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558い5	5.80	361	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	

調 査 内 訳 書

森林管理 署等	調査場所		予定面積 (ha)	予定材積 (m³)	伐採種	伐採率 (%)	調査方法	備考
	林名区分	林小班						
岩泉	国有林	558い6	4.67	301	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558い5襲用
岩泉	国有林	558い7	11.31	653	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558ろ4	6.58	507	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558ろ5	2.53	186	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558ろ6	4.47	337	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558ろ4襲用
岩泉	国有林	558は1	10.16	760	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558は2襲用
岩泉	国有林	558は2	9.59	713	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558は3	7.61	554	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558は2襲用
岩泉	国有林	558は4	4.81	350	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558は5	2.42	157	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558は6襲用
岩泉	国有林	558は6	3.70	245	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
岩泉	国有林	558は7	2.54	167	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558は6襲用
岩泉	国有林	558に4	3.70	279	列間(簡標)	35	標準地(襲用)	558は4襲用
岩泉	国有林	558に5	8.45	901	列間(簡標)	35	標準地(簡標)	
合計			282.79	20,553				

別紙 2

特約事項（収獲調査委託）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生いのししにおけるアフリカ豚熱（以下、「ASF」という。）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やいのししに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、下記について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、感染防止対策に協力すること。

また、野生いのししの死体発見時には死体が所在する県の家畜衛生部局に速やかに通報するとともに、当該森林管理署等へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生いのししの感染が確認された場合の各県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、各県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、本契約の作業を一時中止する可能性がある。

一時中止となった場合は、収獲調査委託契約約款第 11 条により対応する。